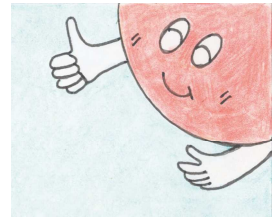


ソーラーシェアリングの

落合農園だより -その5- 2020, 2, 15



◆落合農園の紹介

農地の上にソーラーパネルを設置し、発電と営農を分かち合う(シェアする)厚木市初のソーラーシェアリングの農園です。一般社団法人あつぎ市民発電所とともに、農業振興と再生可能エネルギーの普及を目指します。無農薬で化学肥料も最小限(いずれは不使用も)という安心安全な農産物を栽培します。皆様ぜひお買い求めください!農園のご参観も大歓迎です!

農園主 落合清春 080-5091-8844 メール koshun@live.jp

場所 厚木市飯山885-1 県道厚木清川線 バス停「ゴルフ場入口」から厚木方面に戻り、徒歩1分 右側

◆トピックス

●竹炭をつくる 農園の南側に手入れされていない竹林が広がっています。地主に許可を得て、時々竹を間引き、竹炭を焼いています。竹炭は土壌改良に最適ですし、竹林は手を入れないとどんどん劣化していきます。さらには農地を荒らす野獣の隠れ家にもなります。まさに一石二鳥です。では、どうやって炭を焼くか、その手順をご紹介します。



①間引いた竹を適当な長さに切る。②家に持ち帰り、大きめの陶製の植木鉢にその竹を入れて、火をつける。③全体が燃えた頃、蓋をして蒸し焼きにする。

これだけです。焼くのにかかる時間は1回あたり10分くらいで、土鍋1杯分の竹炭ができます。「うちでも欲しい」という方、ご連絡ください。お分けしますよ。金額は要相談。農作業を手伝ってくださる場合、もちろん無料です♥



●ロウバイの種をお分けします

ロウバイ(蠟梅)がそろそろ見納めでしょうか。最近、知人からロウバイのタネをたくさんいただきました。以下、ネットからの引用です。

ロウバイは、まるでロウ細工のような黄色い花を咲かせる中国原産の落葉低木。開花期以外はあまり目立たないが、新春に香り高い花を咲かせる貴重な存在である。中国では、梅、水仙、椿とともに、「雪中の四花」として尊ばれている。

タネまき 適期は9月。採取したタネを赤玉土小粒単用やタネまき用土に、タネの3倍ほどの深さにまく。乾かさないように水やりをして管理すれば、春には発芽する。本葉が3~5枚ほど展開したら、1本ずつ鉢上げする。用土は赤玉土小粒8、腐葉土2の配合土など。発芽後5年ほどで開花する。

※竹炭、蠟梅の種ともにお問い合わせ・申し込み先は、koshun@live.jp(農園主落合メルアド)郵送または持参します。

